

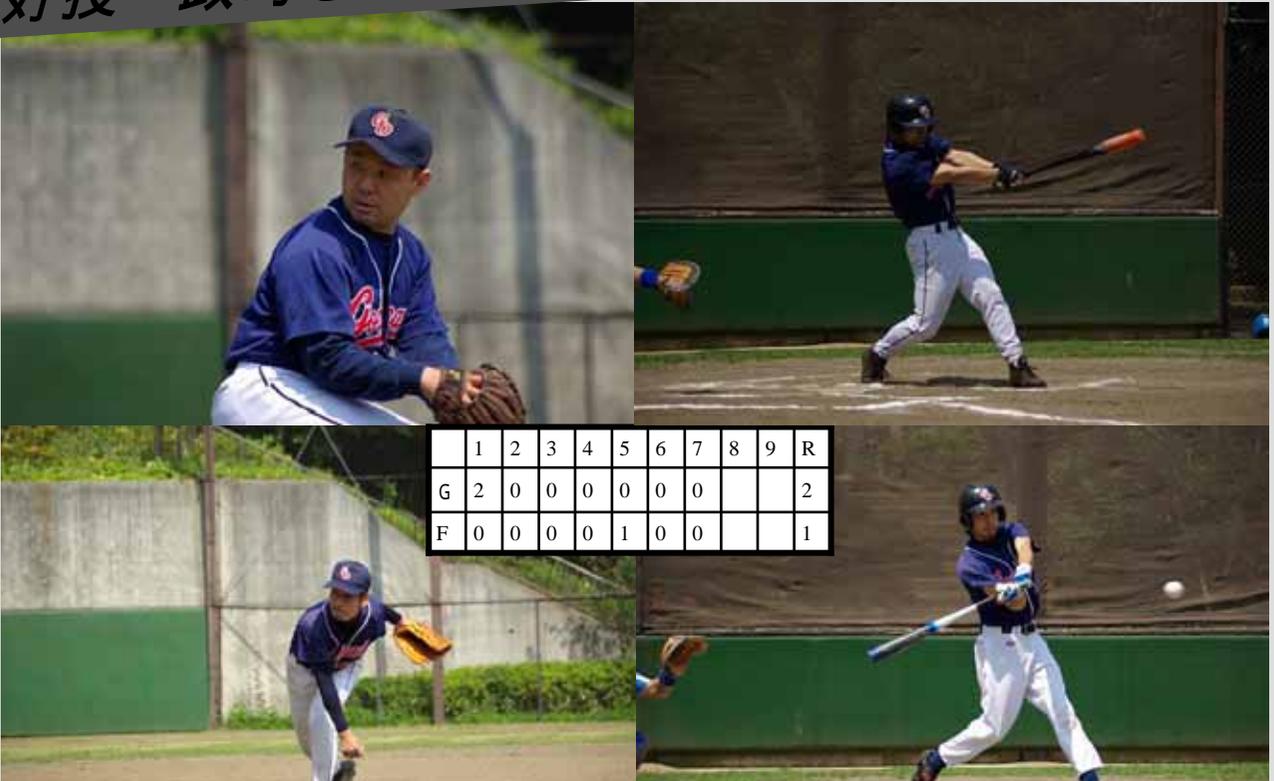
ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第16号 平成22年 6月13日

中弛み感有り有りのゲーム、追加点のシーンを逸す！

林好投 政司もピシヤリ！



6 / 1 2 (土) 小雀公園野球場にフィットンッツを迎え、KSC公式戦を行った。だんご状態の首位争いから脱したい、そんな気持ちで今日の勝因の一つかも知れない。今日は、我がチーム先攻。先頭の智が死球で出塁、その後、2盗・3盗を決め、早くも先制のチャンス。この場面に今日3番に入った哲也が、3球目を綺麗にセンターに運び先制点をゲットした。まだ、チャンスは続く、二死三塁の場面に、たかあきが初球を三遊間に運び、2点目をゲットした。しかし、打線においての見せ場はこの回のみであった。今日の先発は、チームの勝ち頭@林、4回まで完璧な投球で、三塁踏ませない内容、しかし、翌5回に悪夢が待っていた。この回の先頭打者に投じた2球目を、見事に柵越えに運ばれてしまった。動揺したか林は、この回初めての四球を出すなど、打者7人に対し、26球を投げ、マウンドを降りた。1点差の場面にマウンドに上がったのは、キャプテン政司、しかし、この政司は、代り端は、ピリっとしなかった。1死を取るものの、四死球2で、早くもスコアリングポジションにランナーを背負う展開、続く打者に右前に運ばれ、1死満塁の絶対のピンチ！しかし、このピンチを救ったのは、今日の内野陣であった。続く打者に投じた2球目、打った打球は、サードへ、このサードが、ホームへ、そして、ファーストへ！お見事ダブルプレーで、この絶対絶命の場面も0点に抑えた。そして、最終回の我がチーム攻撃は、単調に3人で終わり、ラストイニング。相手ベンチは意気揚々の形相。しかし、先頭打者のサードゴロを上手くバウンドを合わせて1アウト、続く打者には、3球目を引っ掛けさせ、一塁ゴロ、この頃から、さすがに、相手ベンチも頼み感が増えてきた。相手チームも我がチームもしびれるこの場面、投じた3球目は、またもやサードへ、これまた上手く裁き、ゲームセット！今期1のしびれるゲームを制する事が出来た。しかし、打撃のお粗末は、今期一番否めない内容であった。4回の1死満塁の場面、相手投手は、苦しさ一番の状況で、投球もおじぎをし始めたその時、相手投手を助けるかのように、ボールを打ち、二死満塁へ。最後は、クリーンな打球であったが、結果は結果、ファーストライナーで、絶好の場面を逸してしまった。やはり、投手を援護するのは、打者しかない。相手投手がどのようになってきたかは、ベンチで話しながら、その結果を打席で演じなければならない、最悪の場面は、3回の5球での3アウト！もう少し考えよ！我が打線。また、走塁の拙さもあり、追加点を取れなかったのは、周知の事実。これらの点を反省し、今後のゲームに生かしていこう！いやー、本当にしびれたゲームでした・・・